

1. 製品説明

「ゾーフイゴ静注」

ゾーフイゴは、骨転移を有する去勢抵抗性前立腺癌に対する有効性が確認された世界初の α 線放出放射性医薬品であり、国際共同第 III 相臨床試験において、症候性骨転移を有する去勢抵抗性前立腺癌患者に対し、プラセボと比較し、全生存期間、症候性骨関連事象発現までの期間を有意に延長する事が確認されている。主成分である塩化 Ra223 は骨転移部位に取り込まれ、高エネルギーの α 線を放出する事により、高い抗腫瘍効果を発揮するが、一方で α 線の組織内飛程は凡そ細胞 10 個分未満であり、周辺正常組織に対する作用は限定的であるため、副作用の少ない治療が可能であると考えられる。

2. 「ゾーフイゴ静注」の取り扱いに関する講習会①

RI 内用療法は I131 や、Sr89 など主として β 線を放出する核種が用いられてきた。 β 線は DNA 二重鎖のうち一本のみを切断する位の力であるが、 α 線は二本鎖切断ができる。これにより DNA 修復メカニズムが非常に働きにくくなり、また α 線は酸素依存性、細胞周期依存性も低く、このような事から α 線では非常に高い抗腫瘍効果が期待できる。透過力の観点では β 線(電子)の組織内飛程距離は数 mm であるのに対して、 α 線(He 原子核)は 100 μ m と短いため、 α 線は周辺正常組織である骨髄への影響が少ない特性がある。

このほか、塩化 Ra223 による内用療法についての汚染管理や治療室からの退出基準、適正治療の為の運用、責任体制を明確にした医療体制の構築についても紹介された。

現時点で三重県下において RI 内用療法として塩化 Ra223 の取り扱いが出来る施設は限られており、伊賀・名張地区において施設基準に到達できる医療機関は当院のみであるため、多くの患者の治療に貢献出来る可能性がある。

3. 地域がん登録の入力状況について

4. その他

・次回開催予定日：平成29年4月14日(金)15時より

次回も引き続き、放射線内用療法医薬品「ゾーフイゴ静注」の取り扱い講習会を予定しています。多数のご参加をお願いします。